

久保だいじ



市政レポートNo.03

ホームページから情報発信中。QRコードからアクセス



〈発行〉久保だいじ事務所
〒441-3195 愛知県豊橋市三弥町字元屋敷150
TEL.0532-41-1589 / FAX.0532-41-8100
※2024年1月1日発行

久保だいじ市政活動報告



12月4日から始まった令和5年12月定例会が会期延長を経て12月21日に閉会しました。今回会期延長となったのは、国において物価高騰対策費などの補正予算が11月29日に可決されたことから、それに基づいた豊橋市の新たな事業を追加補正予算案として審議を行ったためです。

今回の議会で成立した補正予算 総額34億3000万円

- 国、県からの補助金……25億5759万円
- 地方債……2億7980万円
- 残りは一般財源……約6億円
(国からの地方交付税追加交付金、基金、繰越金等)

財源の大半が国や県からの補助金で、主に住民税非課税世帯への7万円給付や物価高騰対策費などに使用されます。また今回は新たに、国の方針に基づいた性被害防止対策も実施されます。これは、子ども関連施設・事業所および福祉施設・事業所への屋内カメラ設置やパーテーション設置等のための補助事業です。

令和5年度12月議会で決まった主な事

条例関係 新たに「豊橋市廃棄物の処理及び再利用に関する条例(一部改正)」が施行されます。
※令和6年4月1日施行

ゴミステーションからのゴミや資源物の一切の持ち出しが禁止されます!!
「ゴミを勝手も持ち去れてプライバシーが守られない。」「売却できるものだけ持ち去ったあとには散らかったゴミで道路が汚れている。」などの声もあり、ゴミステーションに出されたあらゆるゴミの一切の持ち去りが、条例で禁止されます。違反者には最大20万円の罰金が科されます。

こんな場合どうなの?……
誰かが指定日以外に出した可燃ゴミを、地域のステーション清掃担当の方が一時的に持ち帰って、改めて指定日に出しなおす。



回答 地域の環境保全に貢献するための行動であるため罰則には問われません。しかし、ゴミステーションを利用する人にはきちんとゴミ出しルールを守ってほしいものです。



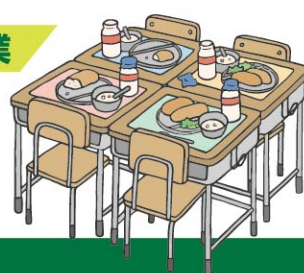
12月議会 一般質問 ▲
発言中の久保だいじ

多目的屋内施設整備緊急発掘調査 事業期間R6年度からR9年度:4億2300万円

豊橋公園内の豊橋球場が取り壊されるに伴い、発掘調査が行われることが市議会議員全員の「賛成」で決定しました。令和6年度から9年度にかけて、発掘や調査研究が実施されます。豊橋球場付近は、古地図によれば「藩士屋敷」だったので、何か発見されれば市民の皆様にも公開されます。

小中学校給食費 令和5年度1月から3月期「半額補助」事業

物価高騰対策として令和5年12月までの完全無償でしたが、令和6年1月から3月までは半額補助に替わります。物価高騰の影響が様々な場面に及んでおり、限りある財源を学校給食費補助以外に幼稚園・保育園や福祉事業所へのエネルギー費用補助、給食物購入補助などにも充てるため、財政バランスを見据えた内容になっています。



久保だいじはこう考える!!

子育て中のご家庭での物価高騰による家計負担を考えれば、無償化が望ましいと考えています。しかし、物価高騰が続く様々な場面に及んでいることから、他にも支援を行う今回の市の考え方に賛成しました。

12月議会 久保だいじの一般質問

「働きやすい職場づくり補助金」の申請要件の緩和を!!

質問 (久保) 職場環境を良くしたいという企業の思いをサポートするこの補助金について、現在は既に在籍している従業員のためにしか申請できない。これから入社してくる人のために前もって補助金が交付され、入社までに職場環境が整うようにサポートすべきではないか。

回答 (豊橋市) 雇入れ前に職場環境を整える必要性は充分認識している。補助金の趣旨が確実に担保され適切に使用していただける手法を確立する中で、雇入れ前に補助金を交付することも、検討いたします。

「働きやすい職場づくりの補助金」豊橋市の制度イメージ図



質問締め (久保だいじ)

現在の制度では、雇用してからでないで補助金申請ができません。このことを重く受け止め、入社初日から安心して働くことが出来るよう、新規雇用者の入社前でも補助金申請ができる仕組みづくりを訴えました。豊橋市からは「前向きに検討する」との回答を受け、実現に向けて前進しました。



POINT ポイント

答弁の中でよく出てくる「検討する」と言うフレーズはどのような意味?

「実現に向けて議論の場に乘せる」という意味です。

基本的に私たち議員は、前向きな答弁と受け取ります。実現まであと一歩、引き続き促していきます。

特別な支援を必要とする児童・生徒への学校現場の課題とは?

質問 (久保) 文科省調査によれば、通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒は推定8.8%いるとの調査結果がある。それらを踏まえて豊橋市の課題と対応を聞く。

回答 (豊橋市) 学習面で困難さがある子や行動面で困難さがある子など、困り感はそれぞれである。そのため支援のしかたも様々であり、その子にあった支援方法を見つけることが難しい。現在は、多くの学校において担任一人で考えるのではなく、特別支援コーディネーターを中心として、学校体制で個々にあった支援に取り組んでいる。



POINT ポイント

久保だいじがなぜこの質問をしたのか?

発達障害および発達障害グレーゾーンの子どもを持つ保護者からの相談が増えています。それら子どもと保護者の悩みを一つでも解決できるよう取り組むにあたり、今回豊橋市に現状確認をしました。

障害者雇用に積極的な企業に対し、市としてもっと評価すべきではないか!

質問 (久保) 豊橋市は「子育て・育児」中の従業員でも安心して働ける環境整備に取り組む企業を「子育て応援企業」として大々的に評価、宣伝している。一方で障害者雇用に積極的な企業に対しては評価をほとんどしていない。もっと、障害者雇用に積極的な企業を評価し、企業における障害者雇用の動機付けを促すべきではないか。

回答 (豊橋市) 障害者雇用に積極的な企業を評価する仕組みとして国による「もにす認定」がある。それを市として活用して、同制度の積極的な周知を図っていく。また、労働局とも連携していく。



中小企業を元気にする条例が必要ではないか!

質問 (久保) 現在、豊橋市にある中小企業を応援する条例は、高度経済成長時代の昭和47年に作られたもので、現在は作られた当時とは全く違う状況になっている。今こそ「現代」「将来」を見据えた中小企業振興条例を作るべきではないか。

回答 (豊橋市) 先が非常に見通しづらい社会において、新たな価値を創造し、社会的課題に立ち向かうためには、産学官など多様な関係者が一体となって、あらゆる産業の発展を目指す理念等を盛り込んだ条例制定は、意義あるものと考えている。

発言 (久保) ぜひ、制定に向けて取り組まれ、かつそれが豊橋ならではの内容となることを期待する。

あなたの声を市政にとどけます。ご意見、ご相談はホームページまたは各種SNSまで



ホームページは「久保だいじ」で検索

久保だいじ

検索